

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	○事業所の力を活かした地域貢献 介護相談を開催しているがまだまだ認知症とグループホームについて理解が得られてない。重度化してからの入所希望が多い。	地域密着型の施設として、認知症の方が初期の段階で相談・援助出来る体制を整える。	①介護相談日を掲示する。 ②ホームの新聞等にも掲載し、実施している内容を周りの方々にも周知していただく。	12か月
2	18	○本人と共に過ごし支え合う関係 年齢や介護度の増加にともない本人の役割や出番が少なくなった。	一人ひとりの生活の中に活力を見出し、楽しく元気に暮らす。	①ホームでの役割を決める。 ②レクリエーションに参加し、皆さんとの交流をはかる。	12か月
3	19	○本人と共に支え合う家族との関係 家族との連絡体制は整っているが、入居者ご本人の気持ちを代弁し、伝える事が難しい。	入居者の状況を常に把握し、家族との関係が疎遠にならないようにする。入居者ご本人の言葉を伝える。	①定期的な手紙の送付。 ②電話連絡の援助。 ③家族参加型のケア会議。	12か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。